

通所施設の送迎業務DX化×介護タクシー活用による事業効率化と 地域の新たな移動手段の創出・まちづくり

合同会社まるごと

(長野県東御市本海野1052番地1)

資料提供・監修

ソーシャルムーバー株式会社

(群馬県前橋市大友町3-24-1)



Social Mover

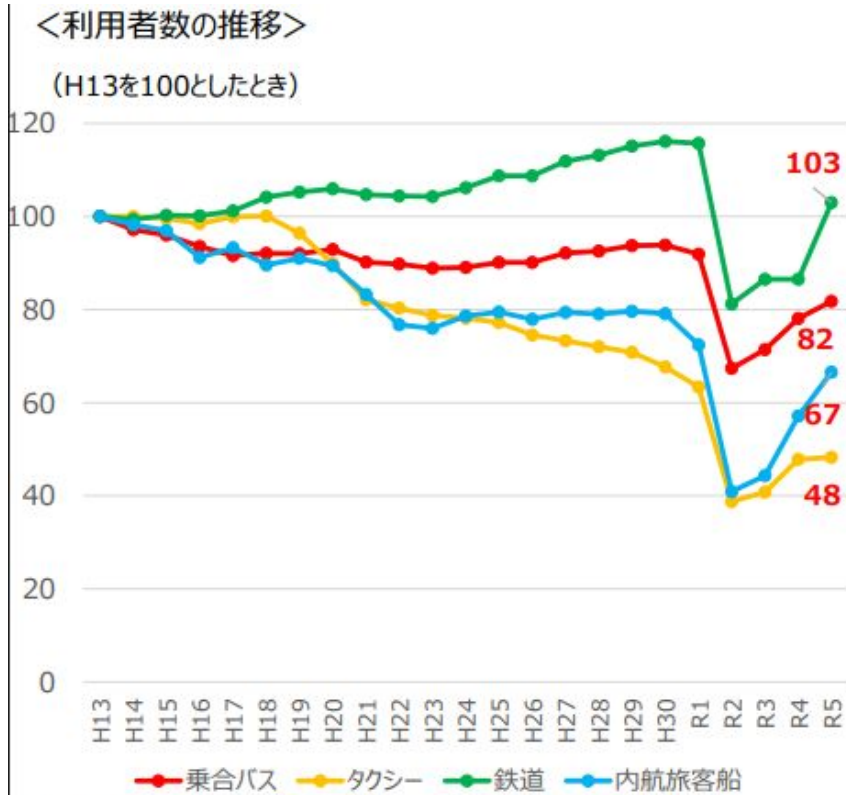
本資料の内容は、2025年12月末時点の情報に基づいています。
資料の取り扱いにはご注意ください。転載、引用については事前
にご相談いただきますようお願いいたします。

地方の交通の現状と課題

長期的な利用者減少に加え、コロナ禍により公共交通の利用者数は急減し、コロナ後も未回復。

平成20年度から令和5年度にかけて、**路線バスは約2.3万km、鉄軌道は約630kmが廃止。**

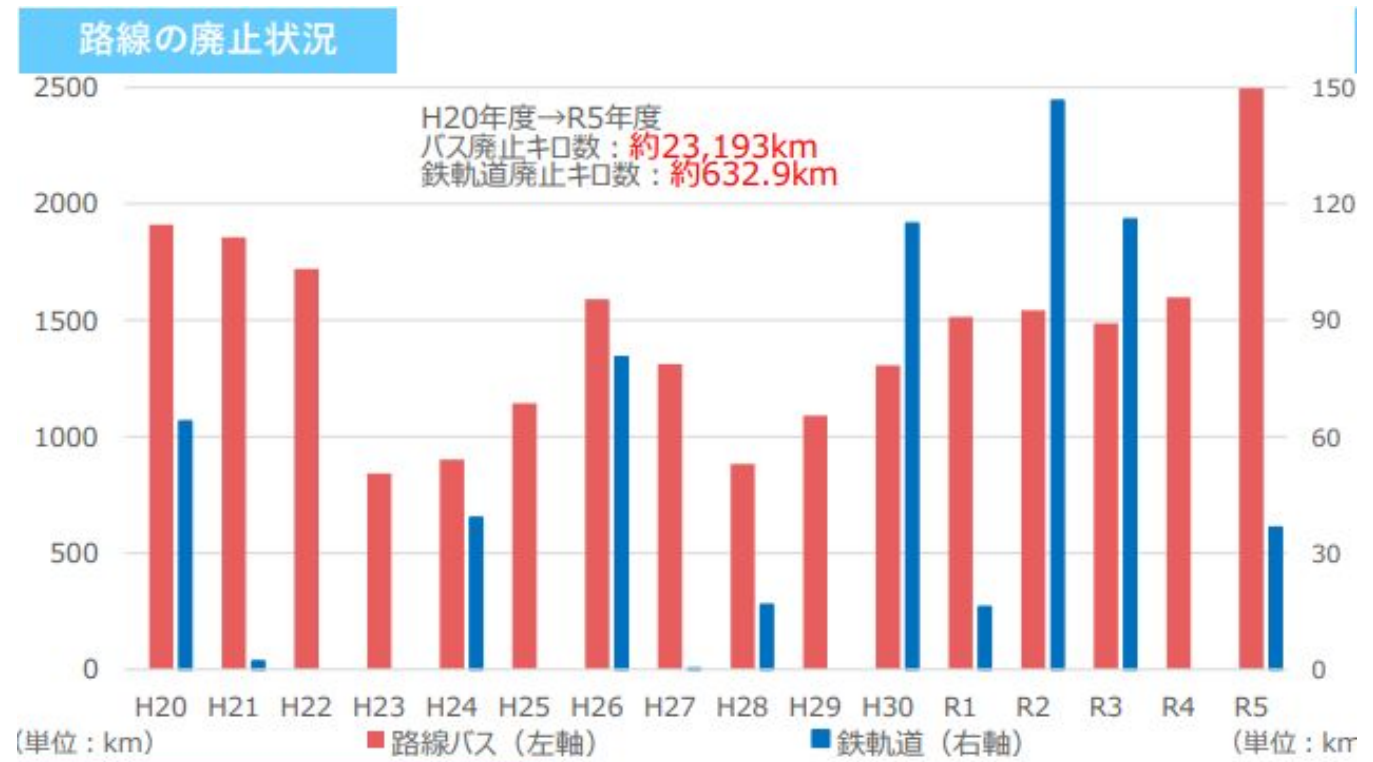
多くのバス・鉄道事業者が赤字経営となっており、現在**路線廃止や減便が各地で続く。**



(出典) 「自動車輸送統計年報」、「鉄道統計年報」、
「船舶運航事業者等の提出する定期報告書に関する省令」に基づく
国土交通省海事局内航課調査より国土交通省作成

国土交通省「地域公共交通の現状」

<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001898150.pdf>



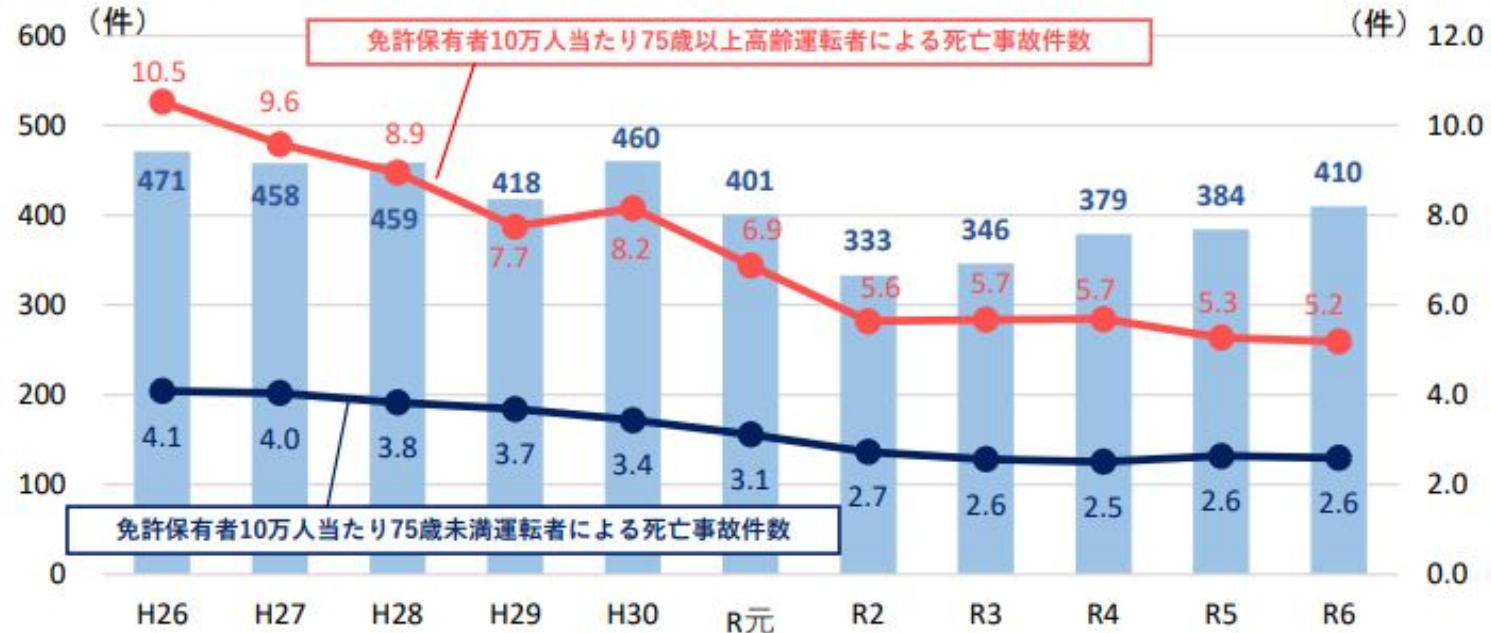
国土交通省「地域公共交通の現状」

<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001898150.pdf>

高齢者の交通事故

75歳以上高齢運転者による死亡事故は、近年増加傾向
免許保有者当たりでは75歳未満の約2.0倍

75歳以上高齢運転者（一般原付以上運転）による死亡事故件数の推移



(注)・ 第1当事者が一般原付以上(令和5年は特定小型原動機付自転車を含む。)の件数である。
・ 運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。
・ 算出に用いた免許保有者数は、各年12月末の値である。

ドア to ドアの交通を巡る現況

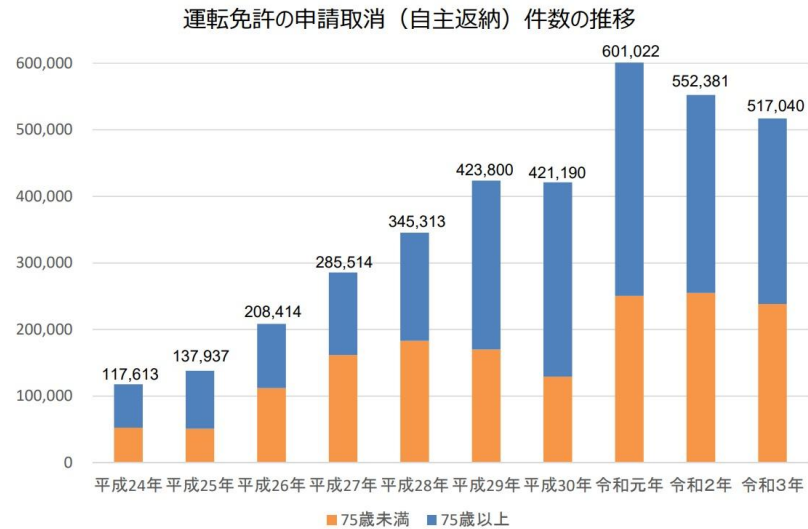
免許返納者は増え続け、地方の公共交通の補完となるタクシーの運転手は減り続ける状況の中で、

運転免許返納者向けの「新たな移動サービス」が求められている

運転免許自主返納者数の推移

国土交通省

○ 全体として運転免許自主返納者数は増加傾向にある。



運転免許の自主返納者は増加傾向

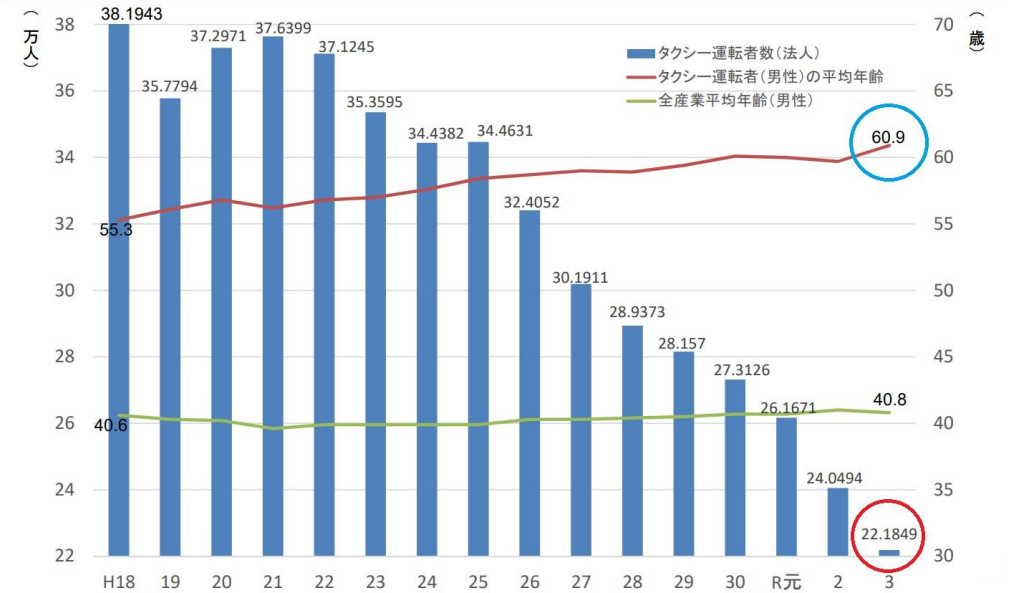
国土交通省「ラストワンマイル・モビリティ/自動車DX・GXに関する検討会」

<https://www.mlit.go.jp/common/001460981.pdf>

タクシー運転者数と平均年齢の推移

国土交通省

- タクシー運転者数は近年大幅な減少が続いており、15年間で約40%減少している。
- 平均年齢も全産業平均に比べ上昇傾向にある。



タクシーは15年間で40%減少し、運転手も高齢化が進む

国土交通省「ラストワンマイル・モビリティ/自動車DX・GXに関する検討会」

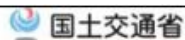
<https://www.mlit.go.jp/common/001460981.pdf>

介護施設の送迎車両・介護タクシー事業者の現況

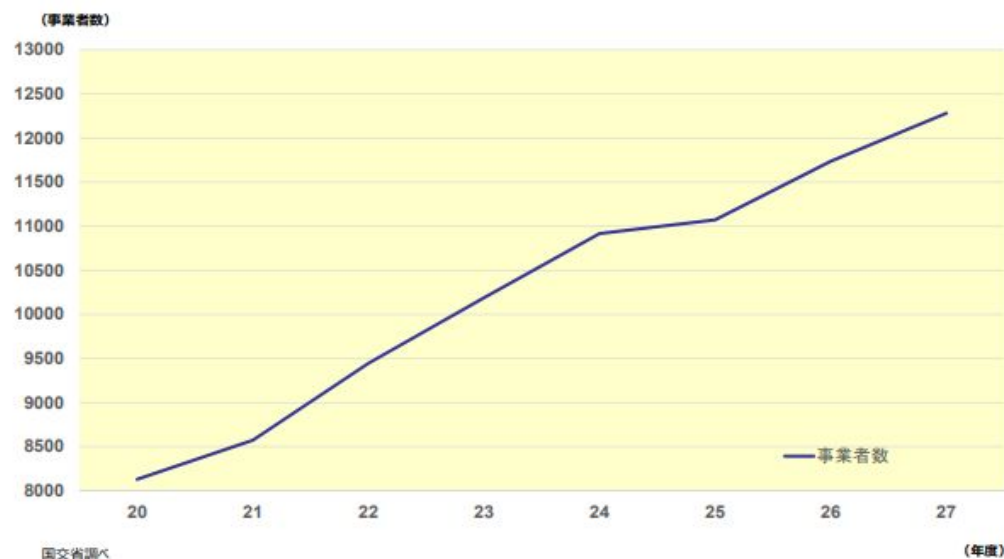
公共交通の縮小、タクシー運転手の減少の一方で、

福祉輸送サービスを行う事業者、福祉タクシー車両（平成22年度比 **約4.3倍**）は年々増加傾向にある。

福祉輸送サービスを行う事業者数の推移



事業者数は年々増加しており、平成27年度は平成21年度の1.5倍増。

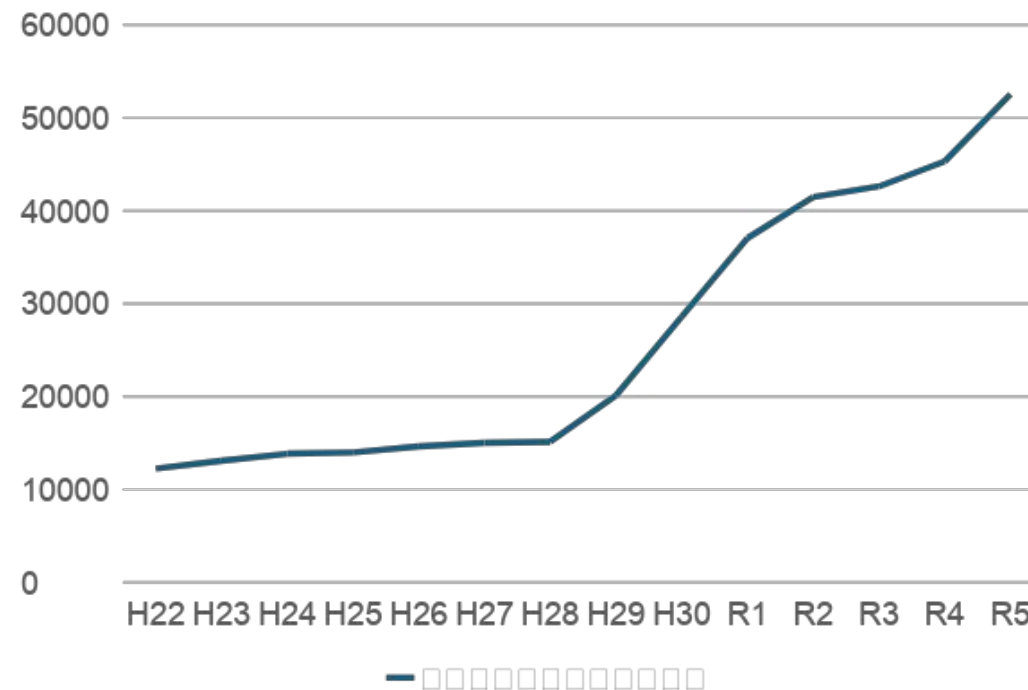


国土省調べ

(年度)

国土交通省「日本のタクシーの現状」

https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/result/pdf/20171208_004.pdf



出典:国土交通省「福祉タクシー車両の導入状況について」より作成

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/content/001713417.pdf>

介護施設事業者が抱える課題

送迎中の事故の発生は軽微なものは日常茶飯事、

しかも年に数回、**重大事故**が日本のどこかで発生している

デイサービス施設送迎車が民家の塀などに衝突 1人死亡、7人重傷 茨城

4/13(土) 2:02 配信 778

0テレNEWS NNN



日テレNEWS NNN

12日夕方、茨城県の県道でデイサービスを終えた帰りの車が民家の壁に突っ込む事故があり、1人が死亡、7人が重軽傷を負いました。

警察によりますと、12日午後5時ごろ、茨城県八千代町でデイサービス施設の送迎車が民家の塀などに衝突する事故がありました。

この事故で、デイサービスの利用者の小竹よし子さん（92）が死亡したほか、70代から90代の男女5人が骨折するなどして重傷です。また、車の運転手と施設の介護士の女性が軽傷を負いました。車は、デイサービスを終えた利用者を自宅に送る途中だったということです。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/27850f90c7d11975452ffa638023af9cb5b1d4a9> (参照2024-04-17)

男女死亡「2人が車の下敷き」…介護施設で送迎車にひかれる 運転手の75歳逮捕 職員も下敷き、自力で脱出

2023/09/14/09:20

交通事故 さいたま市



死傷事故が起きた現場の送迎車 = 13日午後7時5分ごろ、さいたま市見沼区深作2丁目



署によると、車は3人をひいた後、バリアフリースロープに前部が乗り上げ、壁にぶつかった。施設の女性職員から「送迎車と歩行者の事故で歩行者3人が負傷して2人が車の下敷きになっている」などと通報があった。職員の男性は車の下敷きとなったが、自力で脱出したとみられる。男は調べに対し、容疑を認めているという。

送迎中の事故とみられ、署が詳しい原因を調べている。

<https://www.saitama-np.co.jp/articles/45384/postDetail> (参照2023-09-15)

トラックと衝突3人死亡、群馬 介護施設へ送迎中のワゴン車

社会

シェア 投稿

26日午前9時20分ごろ、群馬県太田市世良田町の国道17号の交差点で、大型トラックとワゴン車が衝突した。ワゴン車はデイサービス（通所介護）施設の利用者を送迎中で、乗っていた同市武蔵島町、無職栗原トリ子さん（94）ら高齢の男女3人が死亡した。



デイサービス施設の利用者を送迎中にトラックと衝突したワゴン車 = 26日午後、群馬県太田市

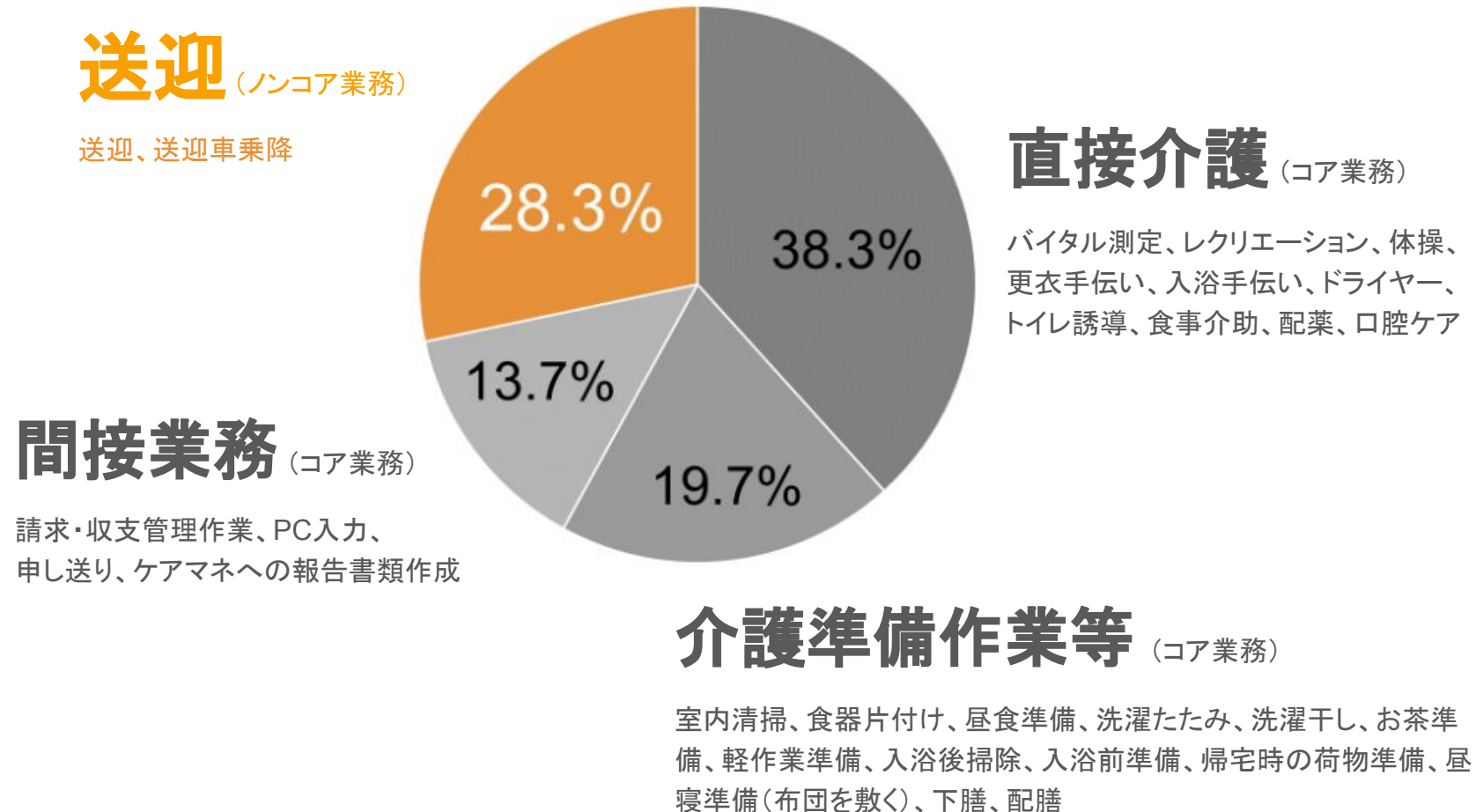
太田署によると、他に亡くなったのは、同市安養寺町、無職正田靖代さん（79）と、同市亀岡町、無職中山昇さん（75）。ワゴン車を運転していた同市龍舞町の介護士高野茂樹さん（53）も、肋骨を折るなどの重傷を負った。トラックを運転していた群馬県桐生市相生町2丁目の加藤秀行さん（49）にけがはなかった。

(2023年04月26日 19時20分 更新)

<https://www.sanyonews.jp/article/1391431> (参照2023-04-27)

送迎を伴う介護施設の実態

通所介護(デイサービスなど)において「送迎」が業務負担の **3割** を占める



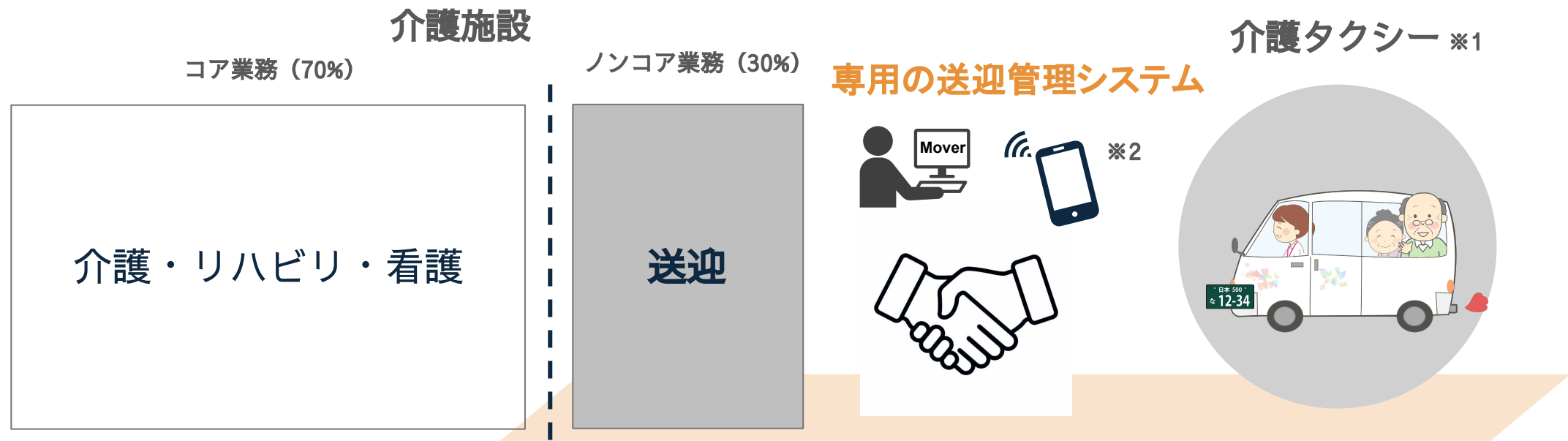
解決に向けた一方策

DXによる配車管理運営業務の効率化・標準化

→「送迎業務」を切り出し、**介護タクシー**とマッチング



介護業務の質の向上、職員の負担軽減通した介護人材不足に対応



※1：介護タクシーとは、介護や障害の手帳を持った方向けのタクシーであり一般のタクシーとは異なる

※2：スマホは施設側で用意

考え方

DXの活用により移動需要と移動手段(車両・運転手)供給を効率的にマッチング



→介護施設以外の現場への横展・応用が可能

事例紹介



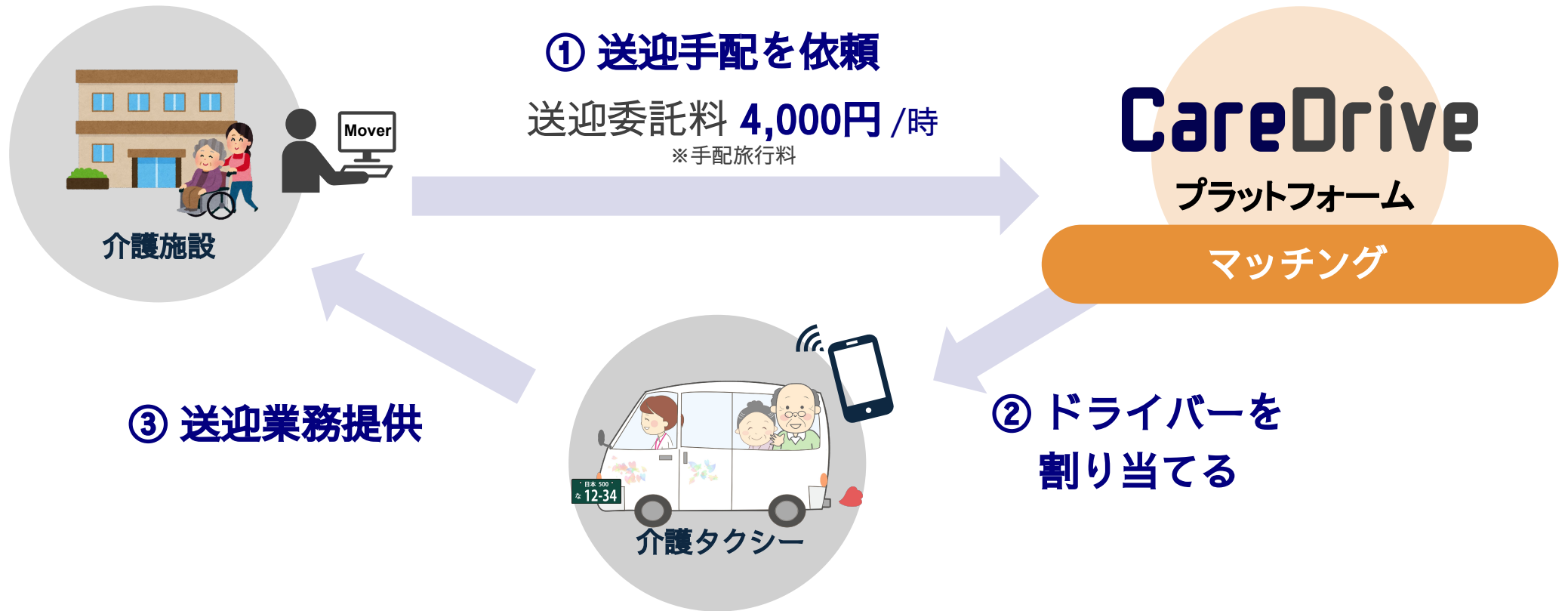
通所施設における配車管理プラットフォーム「CareDrive」の活用



ソーシャルムーバー株式会社

サービスモデル

介護施設は **プラットフォーム** を通じて送迎手配を依頼し、
委託先の介護タクシー事業者のドライバーのマッチングを行う



費用イメージ

項目	個数	金額
導入設定費	1回(初回のみ)	200,000円(税抜)
システム利用料(メインPC)*1	1台 / 月	7,500円(税抜)
車載端末(スマホ)システム利用料*1 *2	1台 / 月	1,500円(税抜)
送迎委託料*3*4*5	1台 / 15分	1,000円(税込) (通常taxi約2,000円)

その他CareDriveの送迎委託料に含まれるもの

・ドライバー人件費、車両代、保険料、燃料費、駐車場代、は上記料金に含まれます。

*1 システム利用料は送迎委託の有無に関わらず毎月発生します。

*2 車載端末(スマホ)システム利用料は、送迎を委託する車両1台毎に発生する利用料です。

車載端末(スマホ)及び通信料(SIM)は各施設にてご用意いただきます。Androidを推奨します。iPhone未対応。

*3 送迎委託は**1日3時間×月～金(土)の帯**でご依頼をお願いします。

*4 送迎業務は基本、Door to Doorとなります。

*5 サービスは施設の送迎需要と介護タクシーの送迎供給をマッチングするものであり、その履行を必ず保証するものではありません。

得られる効果

定量的コスト削減

従来のコスト

※送迎車1台、ひと月24日稼働、
人件費 1500円/hに(送迎時間外15%含)

人件費 (*1)	124,200円
リース代 (*2)	65,000円
保険代他 (*3)	15,000円
ガソリン	45,100円
駐車場代	10,000円
残業代	0円
求人代	5,000円
退職金積立	0円

合計 264,300円 / 月

CareDriveのコスト

※送迎車1台、ひと月24日を想定した場合

送迎委託費 288,000円
(4,000円 × 3時間 × 24日)

合計 288,000円 / 月

定量的メリットは、

▲23,700円/月の

持ち出し！(マイナス)

*送迎範囲の拡大で利用者一人の獲得で充分賄える

(*1) 人件費を33万円/月で計算(厚生労働省介護事業経営概況調査の概要より)

(*2) 社用車リースサービスCARRO JAPAN より算出(トヨタボクシーを想定)

(*3) 行政書士HPより算出

定性的なメリット

に注目！

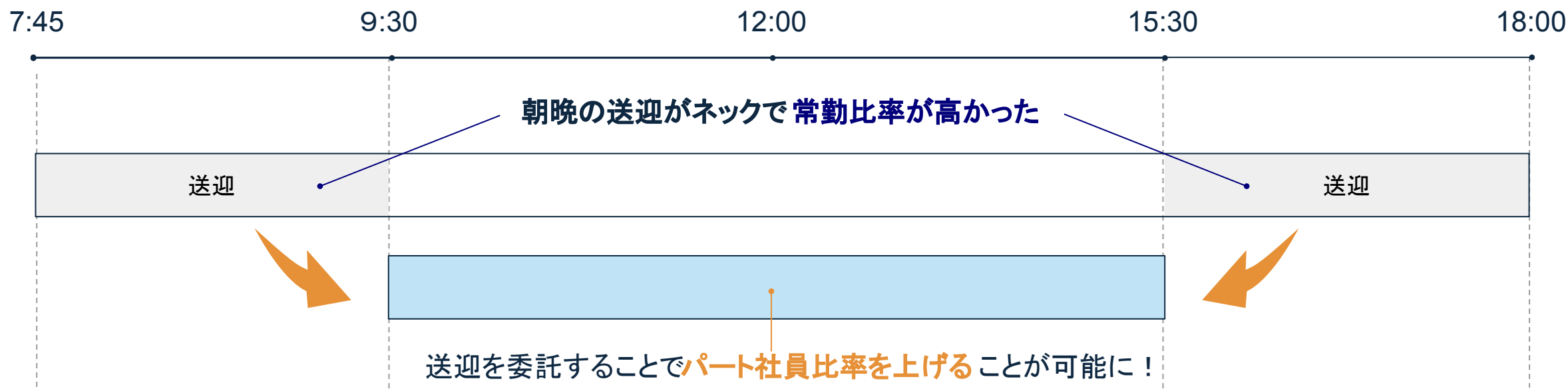


- **送迎範囲の拡大で集客力がアップ！**
- 送迎を委託することでリクルーティング改善
- 介護人材不足(採用難)への対応策
- 給油・洗車・車内消毒・点検や車検のスケジュールリ
ングの手間(運行時間以外の手間)
- 交通事故発生から示談まで管理者の労力減！
- 交通事故発生リスク軽減
- 保険料・ガソリン代の高騰リスク軽減
- 本来業務に集中できる職場環境
- 非通所日に移動支援ができる他社との差別化戦
略

得られる効果

経営効率と職場環境の劇的な改善（常勤比率を下げるができる）

送迎時に施設に残った職員の業務を、本来送迎業務を行っていた職員も合わせて行うことができるため、残業や心理的負担を劇的に軽減することができます。また送迎業務が無くなることにより**全体の業務時間が短くなる**ため、**非常勤(パートタイム)職員の活躍**も期待することができます。



コアタイムが 7:45～18:00 ⇒ 9:30～15:30 に！

介護施設からの委託増に伴う介護タクシー需要増で参加介護タクシー事業所も増加

介護施設

エリア	種別	委託事業数
群馬県	デイサービス	11
	デイケア	6
	透析送迎	1
	放課後デイ	1
	生活介護(身障デイ)	1
長野県	デイサービス	1
	就労支援B	1
栃木県	デイサービス	1
福島県	デイサービス	1
愛知県	デイサービス	2
合計		26

26施設で31台稼働 (2023.11~2025.11)

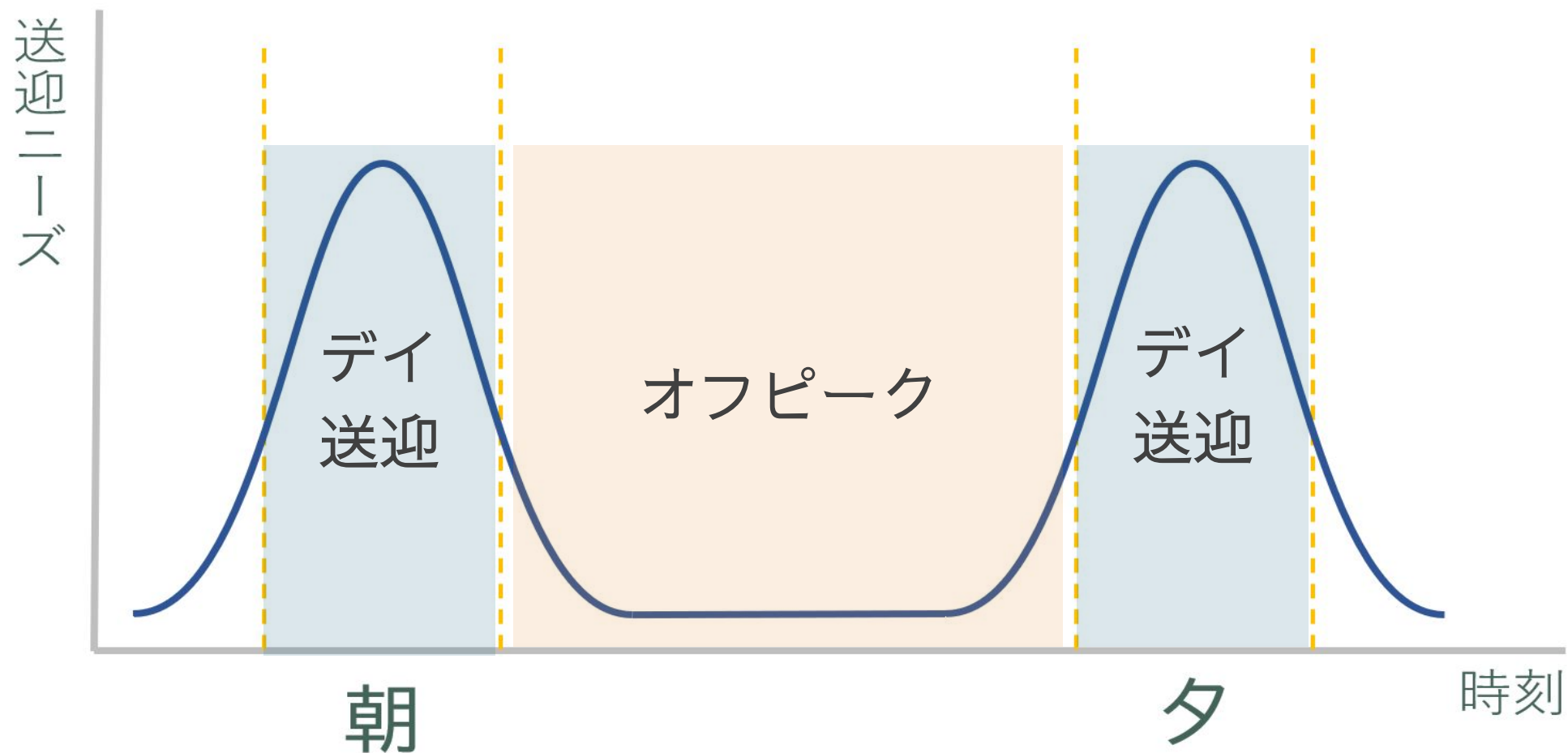
介護タクシー

エリア	介護タクシー事業所	車両台数
群馬県	20	37
長野県	1	2
栃木県	1	1
福島県	1	2
愛知県	1	2
新潟県	1	2
合計	25	46

25事業所で46台契約 (2023.11~2025.11)

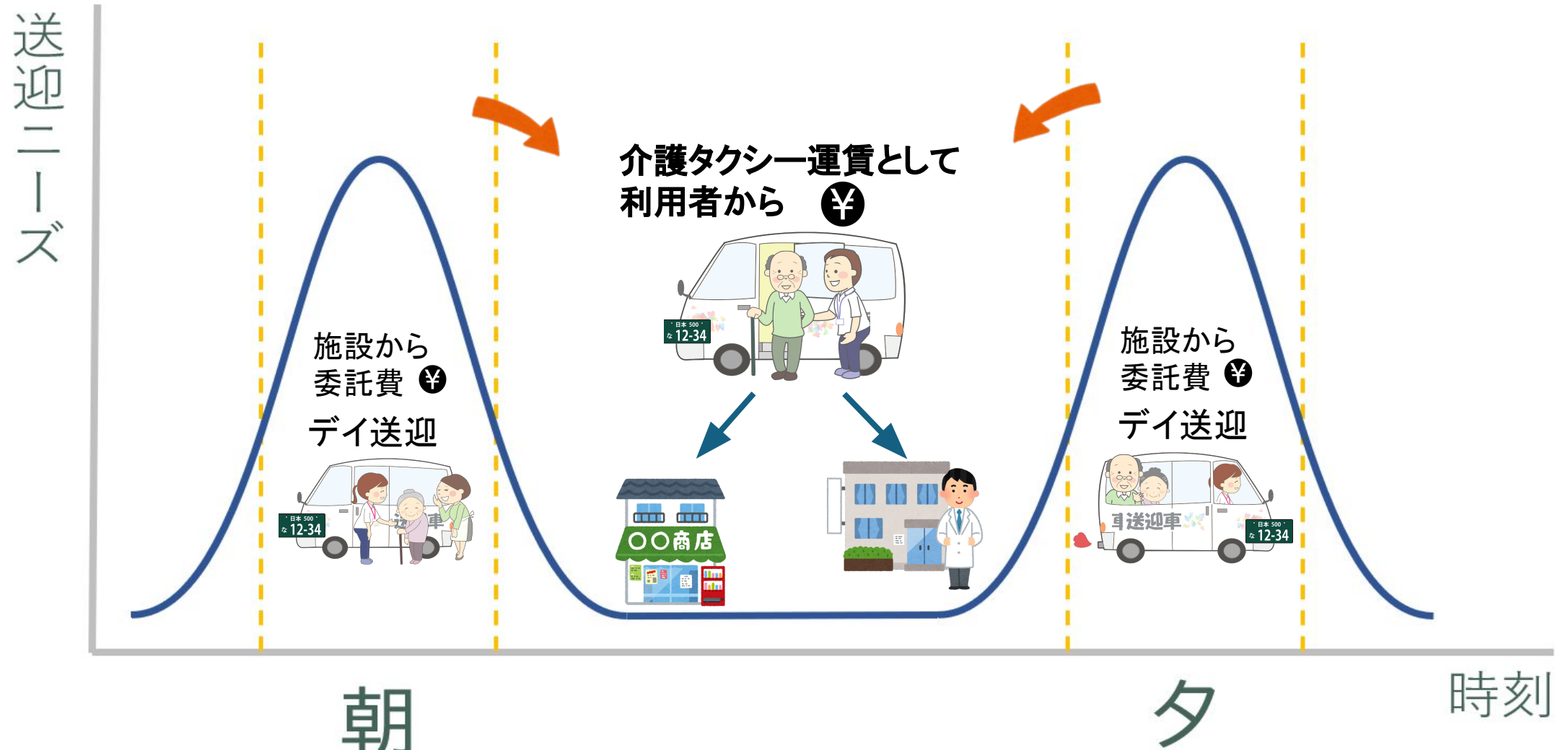
デイの送迎時間のオフピークタイムの有効活用

介護タクシーは、毎日あるデイサービスの送迎業務の受託で安定収入
朝と夕方の送迎で利用者及び家族との信頼関係の構築が営業となる！



介護タクシーは、デイの送迎業務で馴染みの関係をつくる

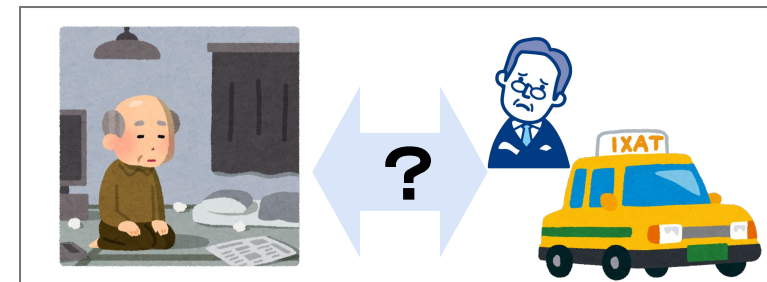
自分のハンデを理解してくれている介護タクシーが日常生活の足になる！



デイの送迎で通所者と馴染みの関係づくり→ハンデキャップを理解した移動支援！

通常の場合：タクシーとの関係性が薄く移動手段の選択肢になりにくい

➡ デイ通所日以外外出しない

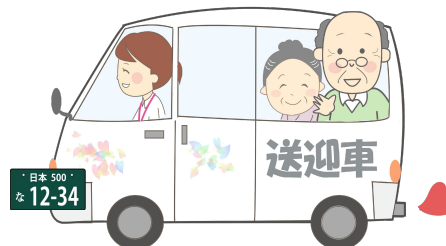


デイの送迎を担当：馴染みの関係があるからタクシーとして呼びやすい

通所者には日常の外出機会が拡大し、介護度が改善するきっかけに！

B2Bの送迎車両として移動支援

通所日
(リハビリ=練習日)

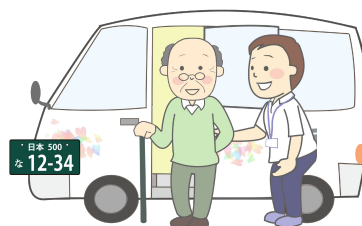


デイサービス



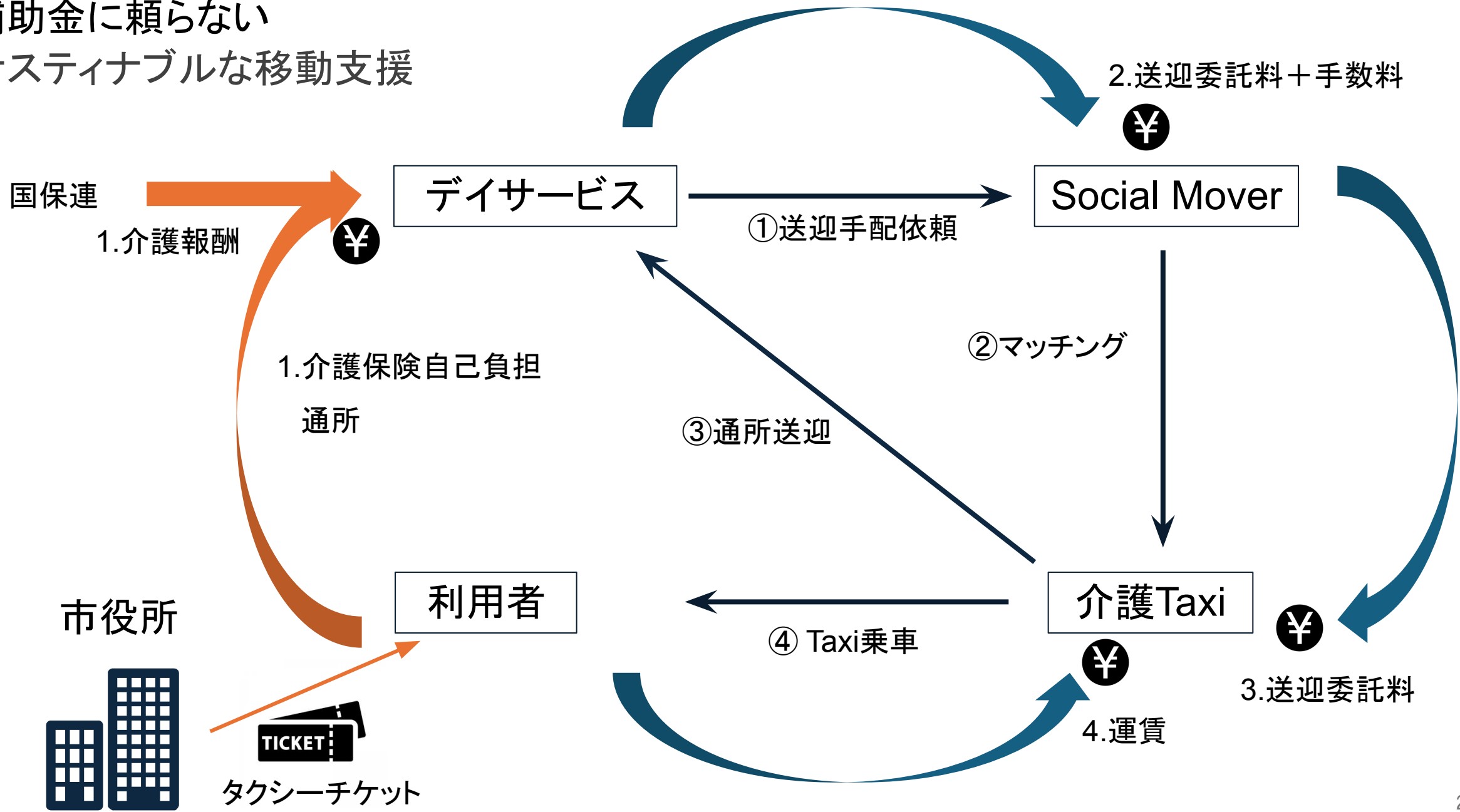
B2Cの介護タクシーとして移動支援

非通所日
(日常生活=本番)



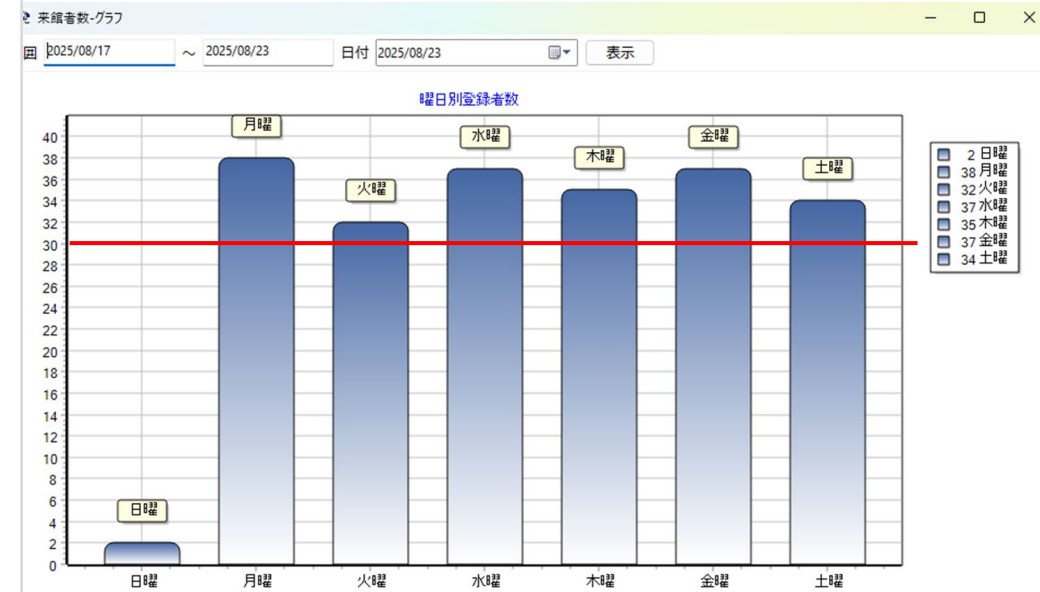
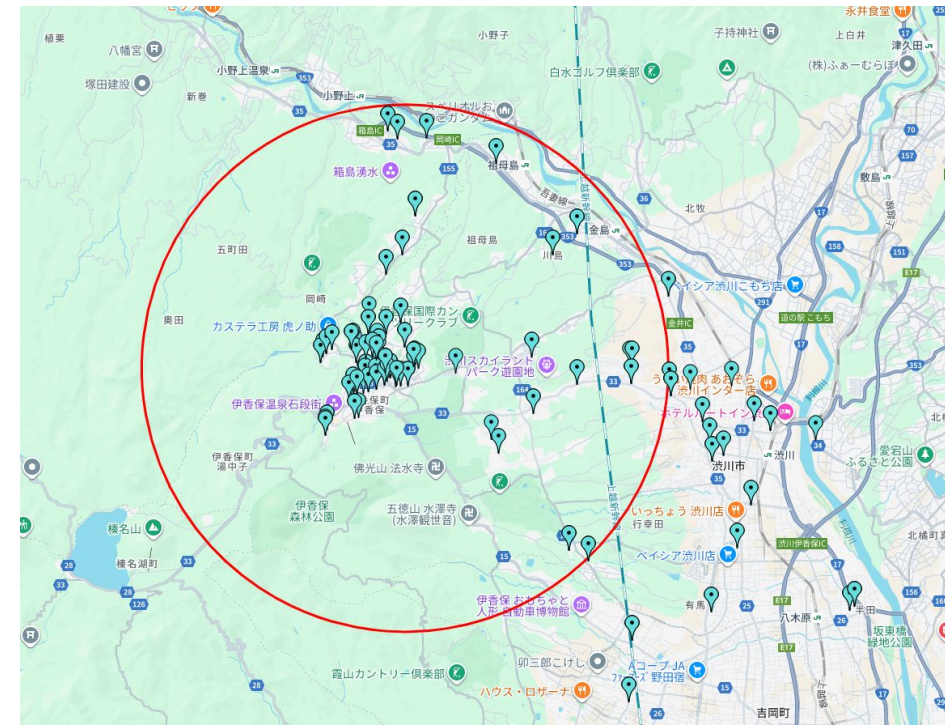
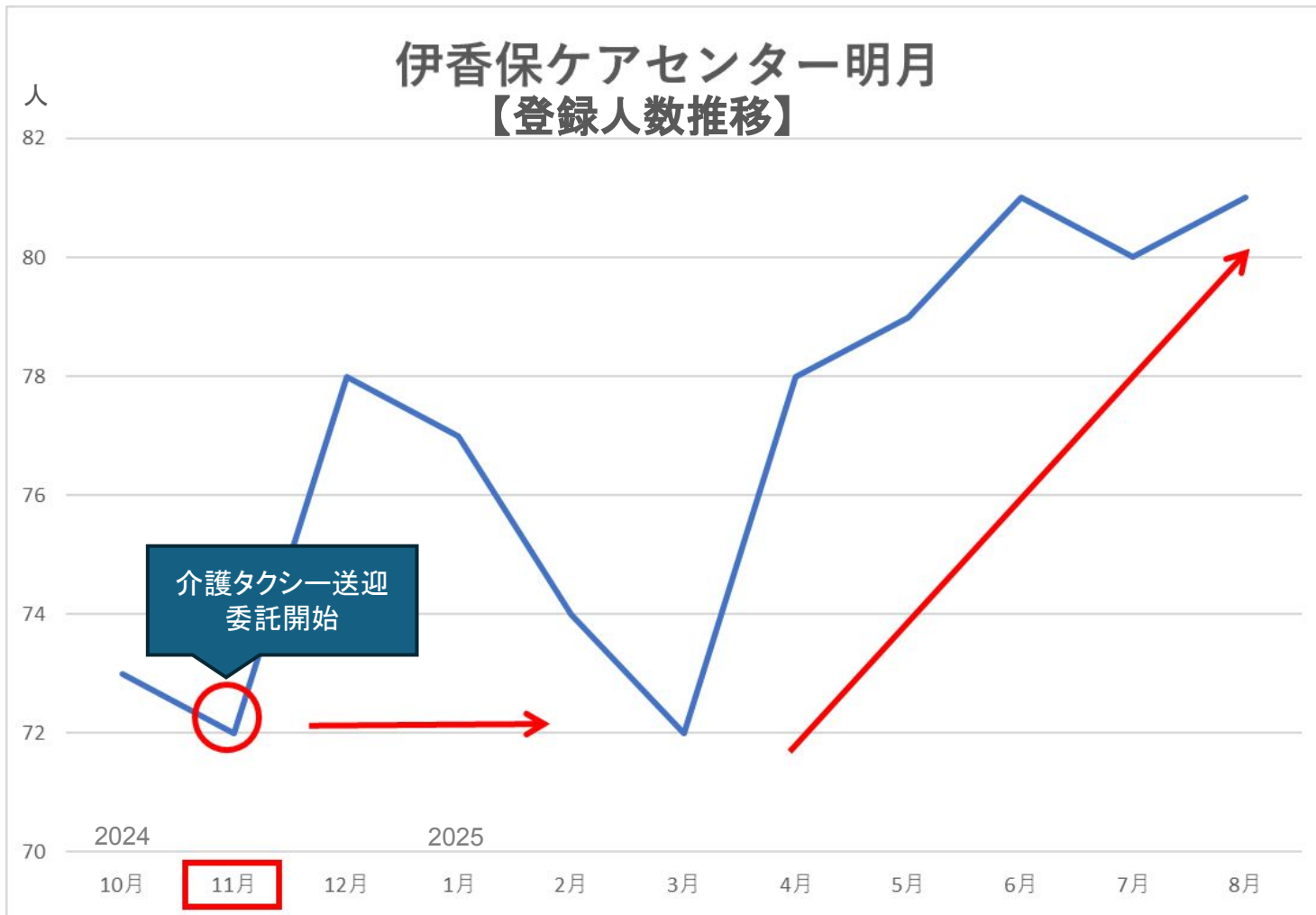
車両は同じ介護タクシー

補助金に頼らない サステイナブルな移動支援

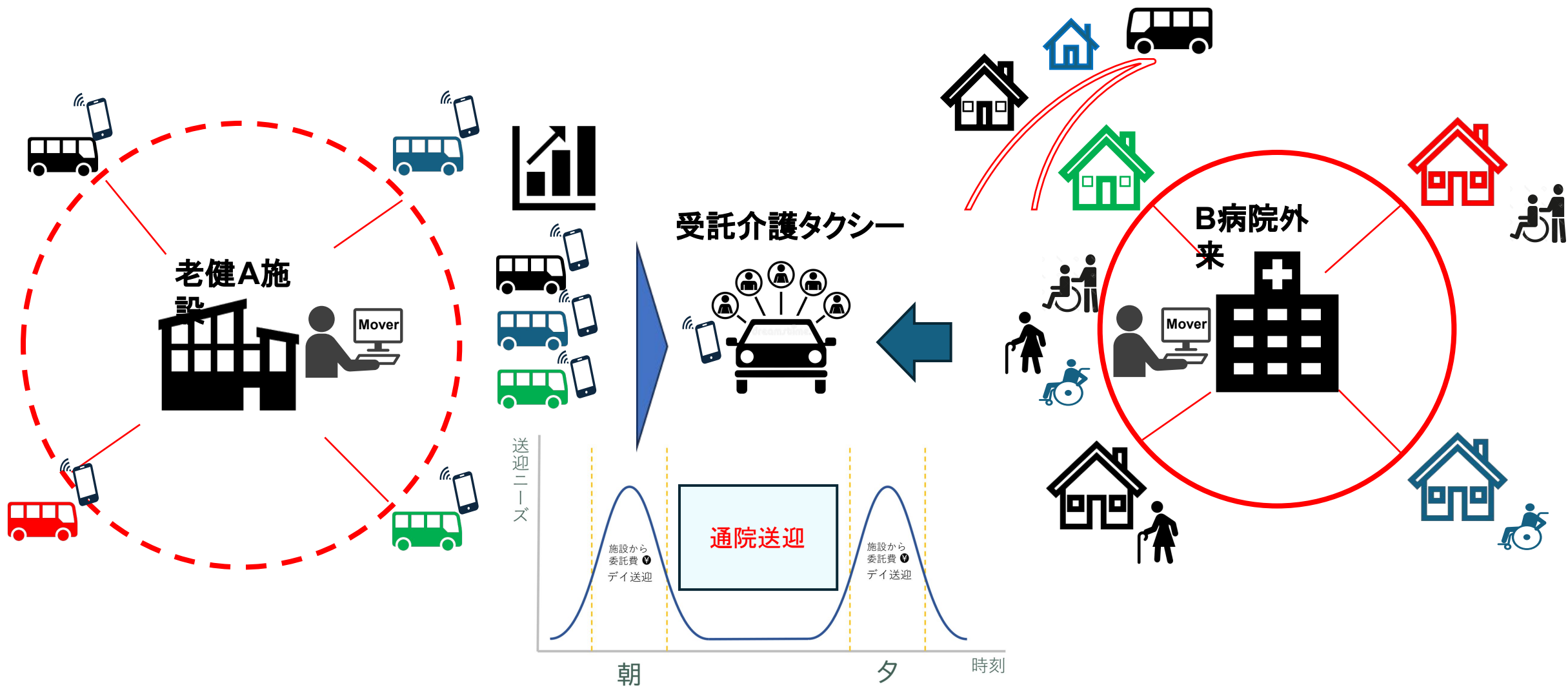


介護施設における副次効果「送迎委託の結果、利用者増」

非通所日の差別化戦略に移動支援：稼働率100%へ



デイケアの送迎タクシーを外来送迎にも利活用が可能

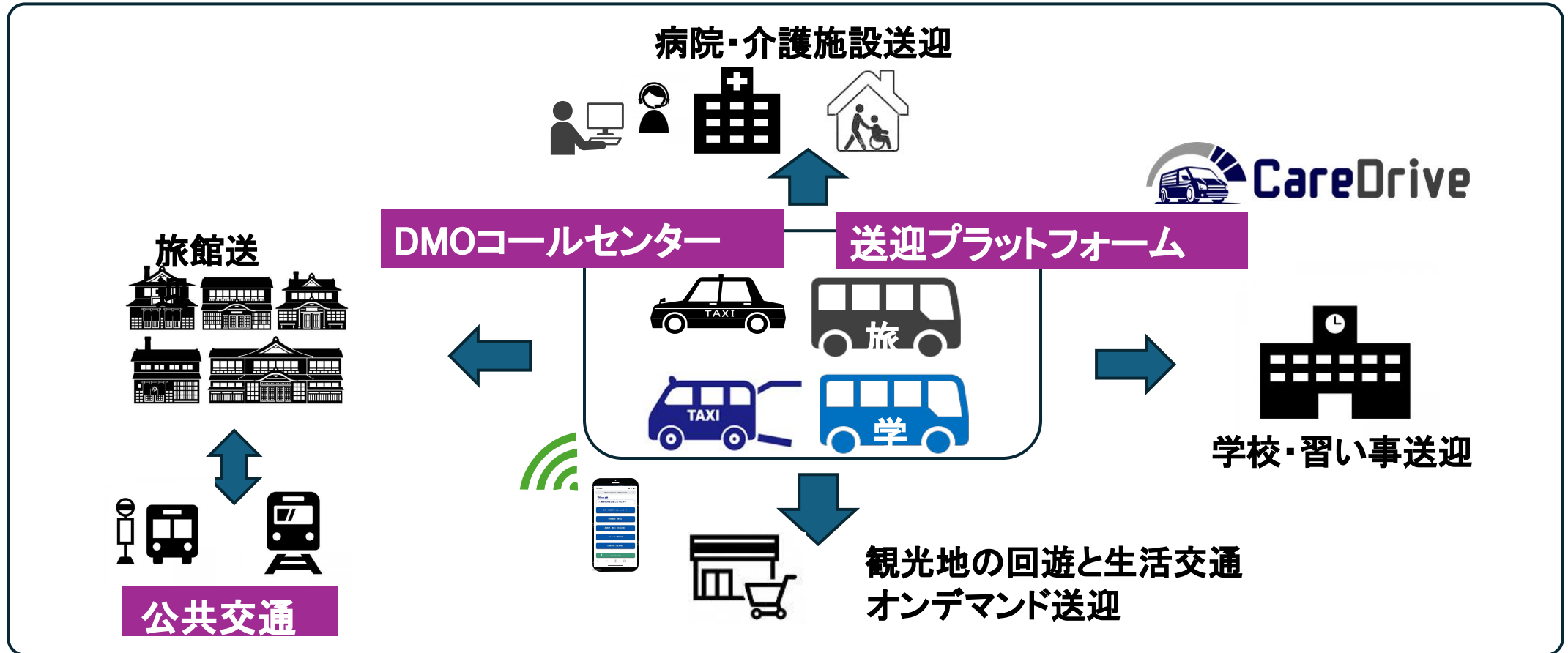


配車管理システムの利用分野の拡大

全ての送迎リソースのフル活用



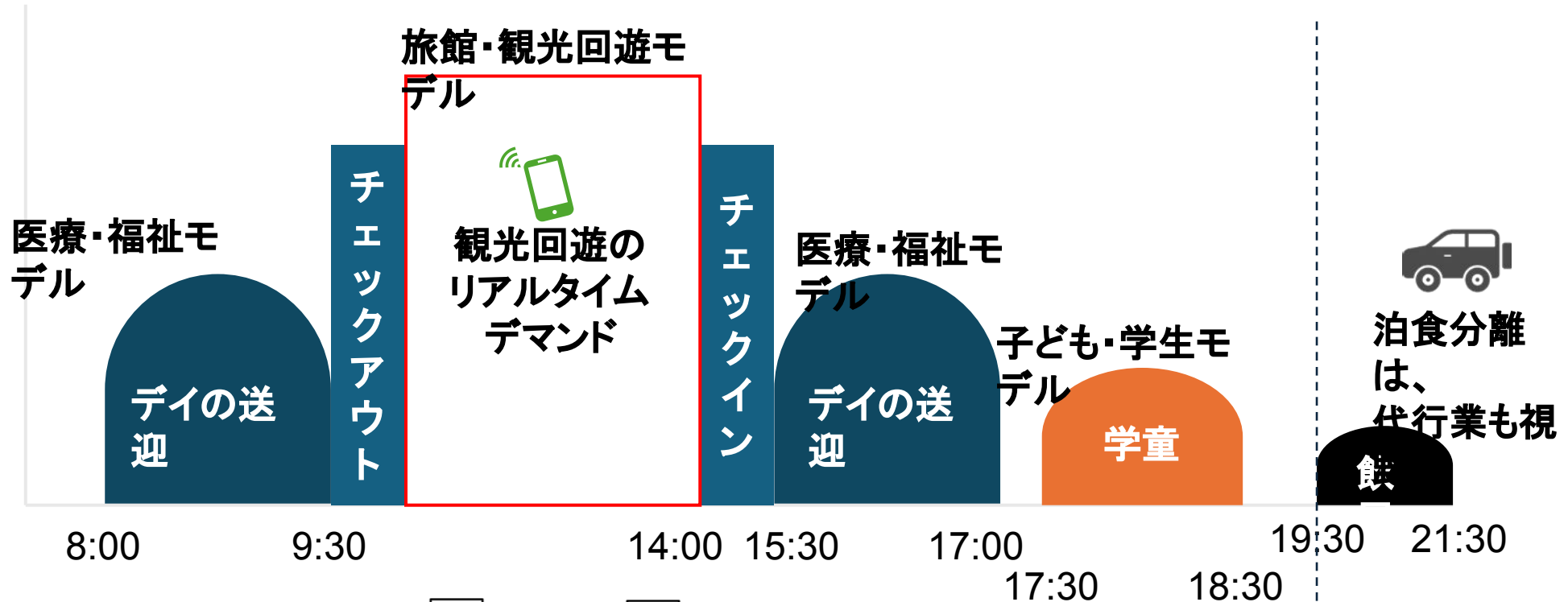
共通送迎システム・送迎の共同化(車両と運転手を一体的に効率運用)



個別の移動課題解決手段から、地域経済の活性化、まちづくりへの拡張が可能

通常タクシーと介護タクシーの活用モデル

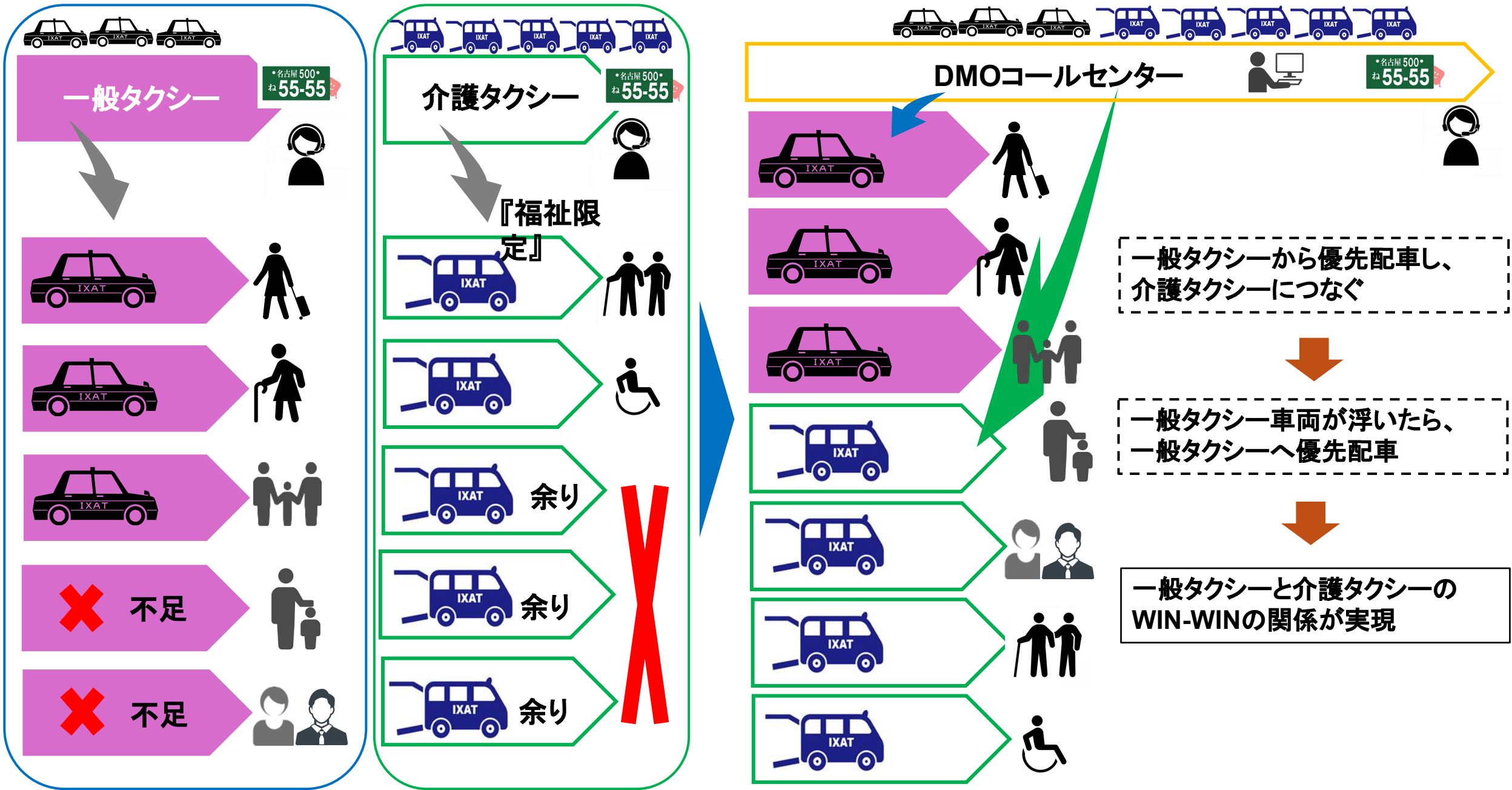
DMO(Destination Management Organization): 観光協会の戦略に基づき、DMC(Destination Management Company)が実行する。



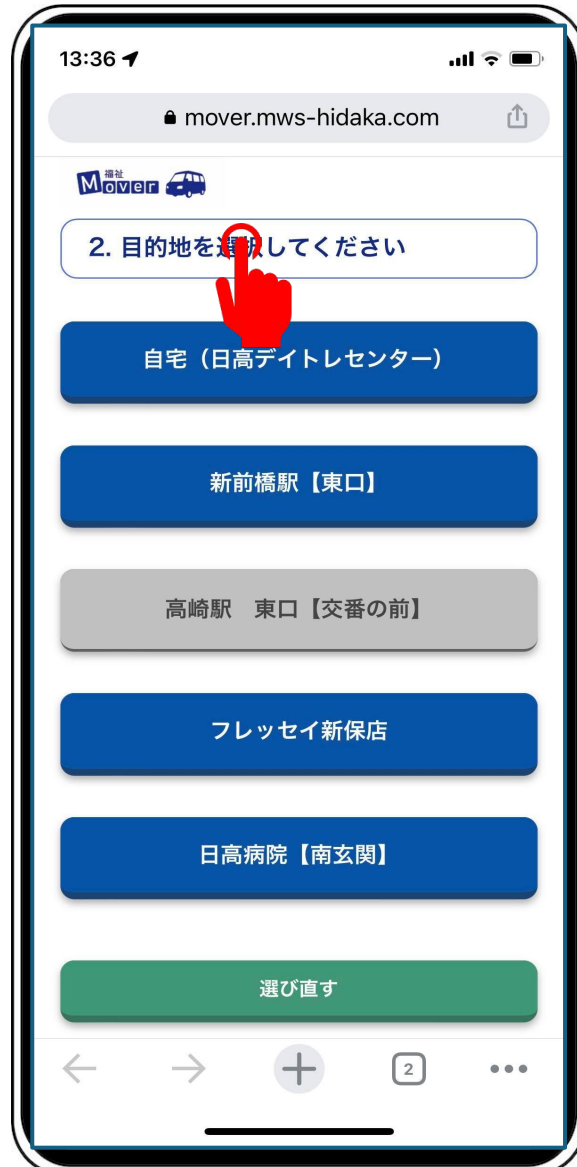
プラットフォーム



車両側から見た状況:【一般旅客自動車運送事業】2種免許(緑ナンバー)の活用



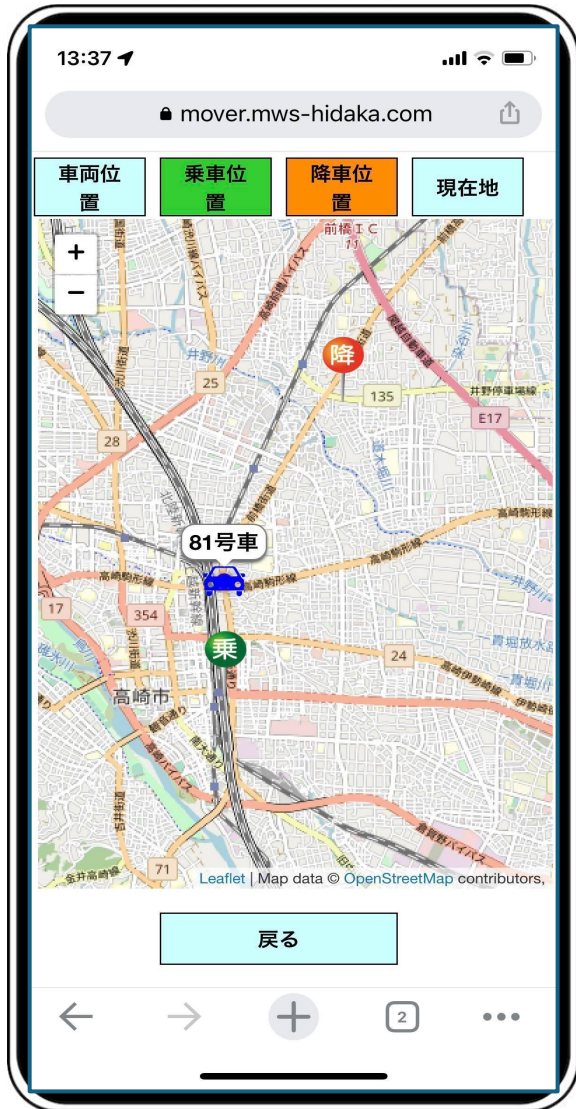
群馬県前橋市「郊外型 MOBILITY」のスマホ配車アプリ画面



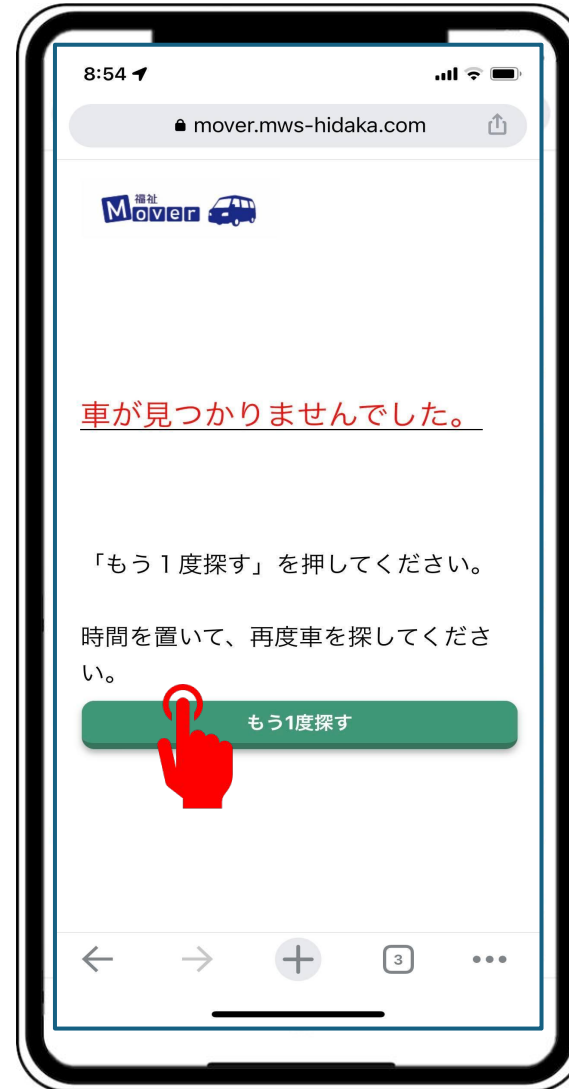


マッチング結果

配車成立



配車不成立 → 再トライ



ソーシャルムーバー株式会社概要



交通弱者の移動と健康を提供する、福祉の現場から社会を変える！

事業内容	<ul style="list-style-type: none">・介護タクシー送迎委託事業（CareDrive）・SaaS事業（福祉Mover、ICTリハ）・コンサルティング
ウェブサイト	https://social-mover.co
所在地	群馬県前橋市大友町3丁目24番1号
電話番号	027-212-4721
従業員数	13名（業務委託者含む）
設立	2023年1月
代表取締役	北嶋 史誉



代表取締役 北嶋 史誉（きたじまふみたか）

医療法人のソーシャルワーカーからキャリアをスタート。医療法人系株式会社で介護保険事業を創出。1998年より群馬県内を中心に10事業所30の介護事業を運営。2018年から日本デイサービス協会の理事就任。2019年全国介護事業所連盟群馬支部の顧問就任。2022年に独立し、現在は介護業界を側面的に支援し、業界全体のプレゼンス向上に向け尽力している。

東御市における「合同会社まるごと」の取り組み

会社概要

設立

2022年3月

事業内容

地域文化の継承、地域の担い手・賑わいづくりに向けた各種事業



空き家だった古民家を改修

- ・地域の食や様々な物品を提供(カフェ)
- ・地域内外の人々の交流の場へ(宿泊)



健康志向の農作物と商品・高付加価値化



二地域居住・移住推進



新たな コミュニティ・関係性、 モビリティづくり

新たなモビリティづくりに向けた活動

1. 国土交通省の補助金を活用して事業基盤づくり

(1)「令和6年度地域交通共創モデル実証プロジェクト」にて「介護タクシー事業の新設と実証実験等」が採択。

①東御市と共に移動課題について考える講座開催(8回)

→地域の福祉施設関係者、公的機関関係者と共に、「移動困難者(主に高齢者)に対する各地の活動事例」を学び、課題解決に向けた方針や具体案、事業プランを議論、検討。



東御市総合福祉センター、東御市役所等にて開催



※介護や障害の手帳を持った方向けのタクシー。一般のタクシーとは異なる

②「合同会社まるごと」として介護タクシーを開業（令和6年11月）

- ・タクシー事業者の廃業により生じていた、高齢者の外出困難に対応。
- ・地域のドライバー確保に向けて、柔軟な勤務シフトを設定し、二種免許取得を支援（令和7年末時点で5名）。
- ・通院や買い物などの外出に活用いただき、好評を得ており、定期、スポットでの引き合いが拡大。
- ・日常生活に不可欠な足として期待されているため、ドライバーの増員に向けて対策中。



 合同会社まるごとモビリティ事業部 | 長野県東御市さん ...
は東御市民病院にいます。
1時間前

東御市で 🚗 介護タクシー
記念すべき
お客様第1号さまに
ご利用いただきました 🎉🎊
ありがとうございます 🙏
ご... さらに表示



介護タクシー
お客様 第1号様
ご利用いただきました

2. 事業分野の拡大

(2) 高齢者の外出支援プログラムの事業化検討

- ・「Goトレ」による外出支援に関して実証実験を実施(令和6年8月～11月)。

「GOTレ」とは

- ✓ 介護予防を目的とした外出自主トレーニングプログラム。富山県黒部市SMARTふくしらボが発案。
 - ✓ 高齢者が楽しみ外出することで「歩く」「話す」「買い物」「乗り物に乗る」など自発的な行動で心身の健康を保ち、介護予防効果が期待できる。
 - ✓ 買い物い物を自身で済ませることにより、ヘルパー不足への対応効果もあり。
- ・東御市健康福祉部福祉課と共催。
 - ・市内スーパー、道の駅雷電くるみの里、芸術むら公園、湯ノ丸高原、上田市柳町、小諸駅前公園などを訪問。
 - ・全20回。通所型サービス、地域活動の利用者(約90名)が参加。

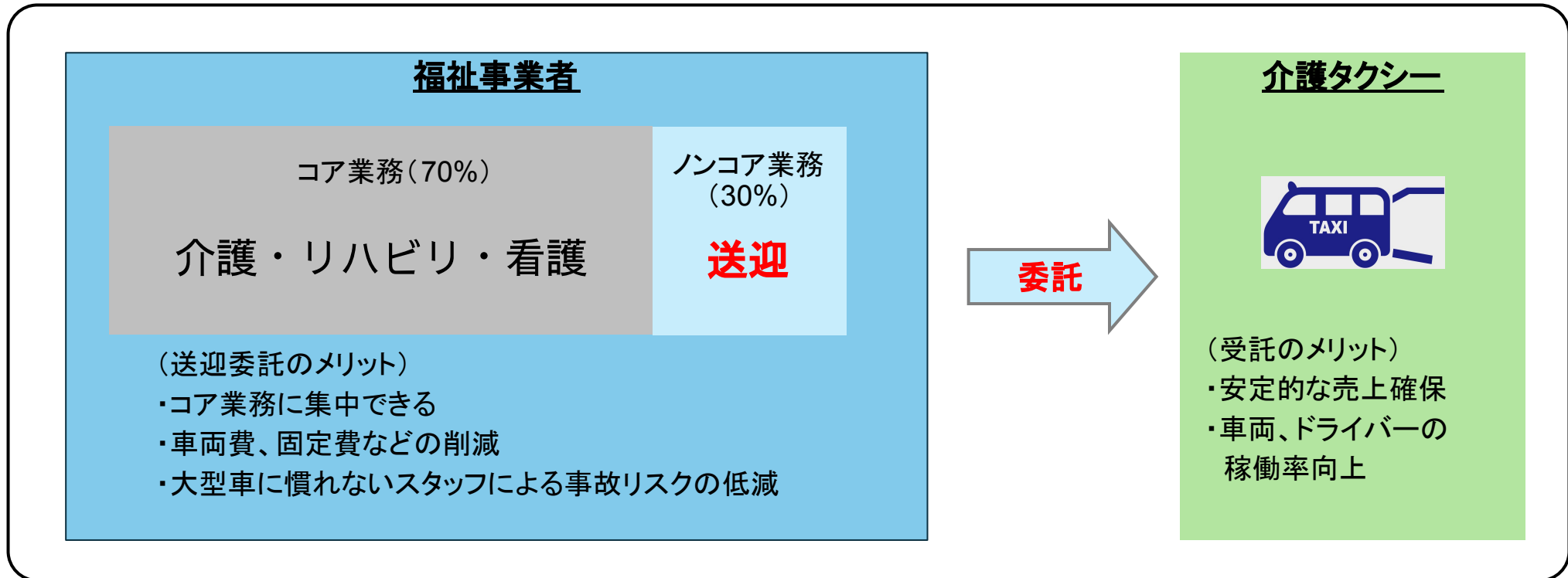


当日の様子 <https://youtu.be/RuCOqNHmaT8?si=ibu4vUQ11OA720xy>

参加者に好評で、プログラム化のニーズ有り→具体化に向け、内容・方法・費用等について福祉施設と協議中

(3) 福祉事業者の送迎業務受託

- ・ソーシャルムーバー株式会社のCareDriveを活用し、福祉事業者の送迎業務の受託に向けて営業活動を実施。
- ・みまき福祉会、ちいさがた福祉会の協力で、①送迎業務のデジタル化、②介護タクシーへの送迎委託を実証実験。



- ・みまき福祉会については、実証実験終了後も送迎業務委託を継続頂き、令和7年12月から増便。
→外出支援プログラムについても、実現に向けて協議中。
- ・他の福祉施設についても、理解活動、営業活動を継続中。

送迎業務のDX化と送迎業務受託に関する報道



SBC信越放送 6

過去記事検索

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/sbc/1714430>

2025年2月

テレビ ラジオ **ニュース** 天気 イベント アナウンサー ショッピング

ニュースワイド特集

免許返納がしやすい社会を…福祉施設×タクシーで地域の足を確保へ、長野県東御市の会社が新たな取り組み、AI使ってルート選びなども効率化



特集 タクシーを使った送迎システム AIも活用 地域交通の課題解決へ

デジタル技術の導入

事業者の業務の効率化 外注時の引き継ぎの円滑化を目指す

アクセスランキング

最新 24時間 週間

- 一日で20~30センチの雪が降ったところも 今回的大雪「ピークアウト」も強い冬型続…
- 免許返納がしやすい社会を…福祉施設×タクシーで地域の足を確保へ、長野県東御市の…**
- 国宝・善光寺本堂などを紫や金色の光でライトアップ 冬季五輪開催を機に始まり22回…
- 「いい人生だったなって思える 最期を迎えるために…」緩和ケア専門の医師が勧める「…
- 【大雪情報】積雪大幅増…北日本から西日本は9日にかけて大雪に警戒 24時間予想降…
- 【実際の音声あり】「お客様の電話番号は本日で利用停止されます…」さらに「詳しく…
- 【こども未来】長野県内では隣

(4)「小中学生送迎手段の多様化」に向けた事業検討

国土交通省「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトの採択を受け

「小中学生送迎手段の多様化」事業の実証実験中(11月～令和8年1月末)

- ・自家用車有償旅客運送の認可(最長5年間)を取得し、放課後にスポーツ教室に通う児童を学校から施設に送迎。
- ・保護者の送迎の負担を軽減することで、キャリア追求への支障軽減、学童の参画機会拡大を図る。
- ・実証実験では乗車地点、行先ともに限定的であるが、CareDriveを活用したオンデマンド化でサービス拡大への対応も可能。
- ・部活の地域移行、参加団体(習い事、地域活動)の拡大により、利用者増、事業性の向上が期待できる。



(5) 国土交通省「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」

- ・二地域居住の希望者が、地域と往来したくなるように、コトづくり(体験プログラム)、地域との関わりを持つ機会創出
→ 事業者間の連携促進や新サービスの創生、次世代のまちづくりにも寄与

体験プログラム案	田畑づくり(実施済)	サッカーなどスポーツ	DIY(家づくり、暖炉づくり)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全、食の出費低減 ・地域活動への参画・仲間づくり ・環境保全(休耕地対策) ・心身の健康 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康 ・地域の友人づくり ・親世代の自由時間創出 ・学童の活動機会の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいづくりの費用や暖房費低減 ・ノウハウの習得 ・仲間づくり ・心身の健康
			
講師	地域の農家、 無農薬の家庭菜園が得意な方	アルティスタ浅間サッカー選手 Sany TOMI インストラクター	地域で先行事例を持つ方、工務店、 製材所 等

- ・二拠点居住希望者の誘引と定着(移動需要拡大)、**ドライバー確保**に向け 以下に取り組み中
 - a) 就業機会のアドバイス、提供(例. 介護タクシードライバー)
 - b) ご本人の起業支援(アドバイス、当面の住居提供、関連事業者の紹介等)



「まるごと」がモビリティ事業分野において目指す方向

多様な移動ニーズ×多様なドライバーの柔軟な働き方×DXによる効率運営 → 地域の移動課題解決
収益安定化



コンサルテーション
システム導入サポート
事業化相談

第二種免許



福祉施設
送迎業務受託

介護タクシー事業



自家用車有償旅客運送
(実証期間期限付き)

外出支援プログラム



学童送迎事業



本資料に関するご質問、お問い合わせ先

合同会社まるごと

(住所:長野県東御市本海野1052番地1、電話番号050-1706-8293)

事業概要・各種資料は以下URLご参照

<https://marugoto-mobility.com/>

ソーシャルムーバー株式会社

(住所:群馬県前橋市大友町3-24-1、電話番号:027-212-4721)



Social Mover